

The frozen snow road surface processing in the sidewalk of winter

2015年07月20日～2015年07月21日

第14回 日中冬期道路交通ワークショップ

三浦 豪（寒地機械技術チーム）／高本 敏志（寒地機械技術チーム）／幸田 勝（寒地機械技術チーム）

積雪寒冷地の冬期歩道では、積雪や凍結により路面上に雪氷路面が形成され、それにより歩行者の転倒事故が発生している。また、交通バリアフリーの観点からも高齢者や移動制約者等に対して、安心・安全に通行できる快適な歩行空間の確保が求められる。道路管理者は防滑材散布によりすべり止め対策を行っており、病院や学校、駅等の公共施設近傍や歩行者の通行が多い交差点などには防滑材が入った砂箱を設置し、道路管理者や一般市民が必要に応じて防滑材を撒けるようにしている。しかし、防滑材は一時的には効果があるが継続的な効果は薄い。このため、防滑材散布のみによらない歩道の雪氷処理方法について研究を行った。

本論文閲覧ご希望の方は、当該学会等にお問い合わせください。